

会長就任のご挨拶

佐竹 炎 (サントリー生命科学財団)

E-mail: satake@sunbor.or.jp

会員の皆さま

このたび、兵藤晋前会長の任期満了に伴う会長選挙で選出され、日本比較内分泌学会の会長を務めることとなりました佐竹炎です。今年、本学会は設立 50 周年という節目の年を迎えました。また、2025 年は仙台で第 19 回国際内分泌学会議 (19th International Conference for Comparative Endocrinology, ICCE19) が、2026 年には 50 回記念大会が開催される予定です。このような節目を迎え、新たな進展を目指していく伝統ある学会の運営を担うことに身の引き締まる思いです。2 年間という任期の間、皆さまとともに本学会のさらなる発展に尽力してまいります。何卒よろしく願い申し上げます。

本学会は、様々な生物種や内分泌学的な現象を対象とする研究者が、教員から学生まで分け隔てなく議論を深め、交流を楽しむ場として、長年にわたり発展してきました。私自身、学生時代にある学会の大会に参加し、老若男女問わず、時には楽しそうに、時には真剣に研究や将来の展望を語り合う光景に心を打たれました。そのとき、「自分もこのような素晴らしい研究者たちの輪に入りたい」と強く感じたことを今でも鮮明に覚えています。このような経験から、私が目指す学会の姿は「楽しくて有意義な学会」であることです。



本学会は規模としては小規模ですが、だからこそ得られる親密さやフットワークの軽さがあります。この良さを生かしながら、会員間の情報共有や交流の広がりをもさらに推進していきたいと考えています。

昨今、研究を取り巻く環境はますます厳しくなっています。資金や時間の制約がある中で、成果が順調に出ている方も、思うような結果が得られていない方もいらっしゃるでしょう。本学会の大会は、どのような状況でも、どなたでも参加することで有意義な学びや新たな刺激を得られる場でありたいと願っています。成果を共有し合い、互いに励まし合いながら、新たな挑戦に向けて力を得られるような大会の開催を目指してまいります。

また、これまでの役員や委員の皆さまのご尽力により、学会のホームページや学会

誌の内容が大変充実し、情報発信の基盤も整えられてきました。同ホームページをさらに有意義な交流の場や情報収集の場としてさらに発展させるために、近年著しい進歩を遂げている AI ツールのノウハウや活用法についての情報交換の場を設けることを構想しています。さらに、書籍出版では、本学会の研究や会員の人となりや SNS などのプラットフォームを通じて広く発信し、多くの方々に知っていただく取り組みも進めていきたいと考えています。

今年 50 周年という節目を迎えた本学会の歴史を振り返るとともに、これからの未来に向けた新たな挑戦を進めていきましょう。比較内分泌学は、様々な生物が示す現象とそのメカニズムや進化を明らかにしようとする、幅広く発展することが期待される学問領域です。他分野との連携や新しい視点を取り入れながら、この学問をさらに発展させていくため、会員の皆さまが活躍できる場を広げていきたいと考えています。

これからの 2 年間、共に学び、楽しみ、そして意義深い成果を共有できる学会を築き上げてまいりましょう。会員のみなさまからのご要望も歓迎いたします。皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。